

抗議の要請文

12月22日の原子力潜水艦パサデナの横須賀入港に強く抗議する。横須賀は、原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦パサデナはただちに横須賀港から出て行くこと強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官 ジョセフ・P・アーコイン中将 殿
在日米海軍司令官 マシュ・カーター少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 ジェフリー・キム大佐 殿

神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
原水爆禁止神奈川県協議会

12月22日午前10時40分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦パサデナが横須賀地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年17回目で原子力艦船の入港は23回目、通算938回となった。

現在、原子力空母ロナルド・レーガンも横須賀に滞港し定期修理を行っており、横須賀には原子炉3基が存在する異常事態である。

今年の原子力艦船の横須賀入港は、原子力空母ロナルド・レーガンの6回を含め23回となり、年間入港回数は、2010年の原子力空母5回を含む25回入港以来である。例年をはるか超える原子力空母や原子力潜水艦の横須賀入港に断固抗議し、原子力潜水艦パサデナはただちに横須賀港から出て行くことを要求する。

米第7潜水艦部隊の司令艦である原潜パサデナの横須賀入港は、アジア地域への戦略的な原潜配置であり、アジア・太平洋地域へ海洋進出を強めている中国を念頭にした日本近海や西太平洋地域への展開であることを示している。

今年の原潜入港17回(原子力空母を含めて23回)に示されているように頻繁に原子力艦船が横須賀港に入港することは、外交の力による諸問題の解決の道を閉ざし北東アジアの軍事的緊張と危機を作り出すものである。また、原子力空母や潜水艦が頻繁に入出港を繰り返すことは、横須賀基地をアメリカの戦争出撃拠点として一層強化するものである。

米原潜の核兵器搭載、核持ち込みは重大である。核密約によって核兵器が横須賀に持ち込まれていたことはすでに明らかになっている。非核三原則を国是とする日本の港に核兵器を持ち込むことは絶対に許されない。原子力潜水艦などの原子力艦船が核兵器を積んでいないことを証明するとともに、核密約はただちに破棄することを要求する。

現在、首都圏は巨大地震発生の可能性が強まり、首都圏や三浦半島で巨大地震が発生したときの原子力艦船の原子炉事故の可能性は増大している。米軍は、「原子力艦船は安全だ。事故は起きない」と主張し地震や津波などの事故対策をともに講じようとしていない。あらためて原子力艦船の事故対策を明らかにし、情報を公開することを要求する。

横須賀基地を戦争の出撃拠点にし、市民を放射能被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入出港はただちにやめること。原潜パサデナはただちに横須賀から出て行くことを要求する。

以 上